

# 沖縄県内の研究基盤に関するアンケート 調査結果

2025年8月

おきなわオープンファシリティネットワーク

## <実施概要>

### 実施期間:

2025年5月19日(月)~6月6日(金)

### 実施形式:

Web フォーム(Forms)による回答(日本語及び英語)

### 実施対象:

沖縄県内にある研究・教育機関(大学、大学校、高専)、公的研究機関、民間企業

### 調査内容:

沖縄県内における研究基盤(研究設備・機器利用、技術提供等)の利用状況及び利用ニーズ

### 回答数:

62件

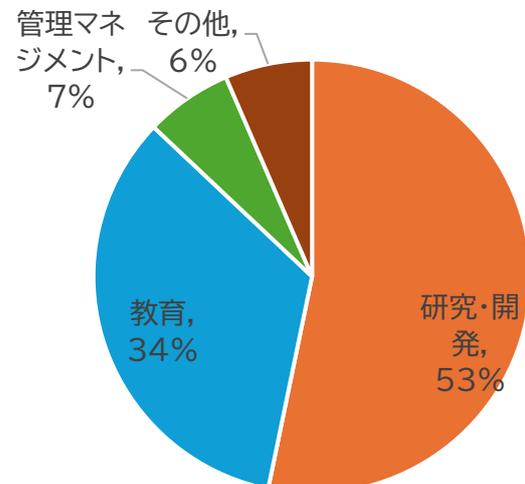
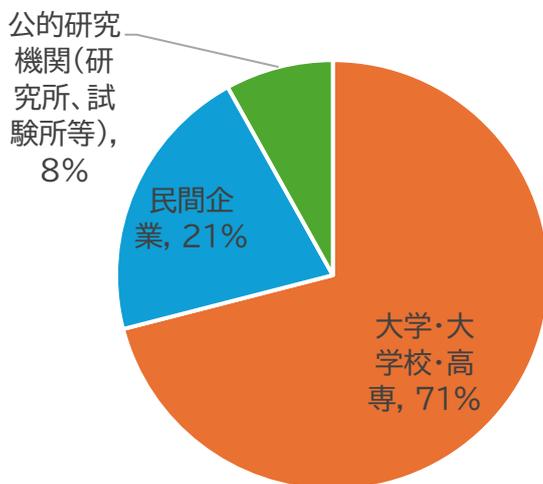
## <回答者の情報>

### 【所属】

所属	回答数
大学・大学校・高専	44
民間企業	13
公的研究機関 (研究所、試験所等)	5

### 【業務内容】

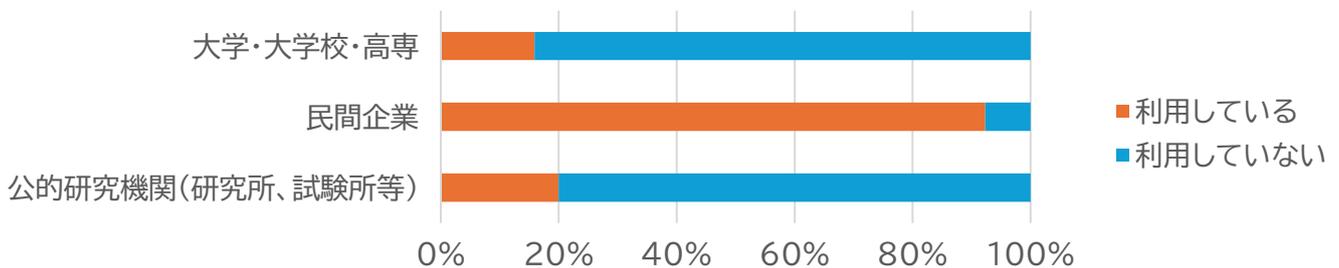
業務内容	回答数
研究・開発	33
教育	21
管理マネジメント	4
その他	4



# 1. 沖縄県内の研究機器・設備について

## 1.1. 所属機関外(沖縄県内)の研究機器・設備の利用状況

所属機関	利用している	利用していない
大学・大学校・高専	7	37
民間企業	12	1
公的研究機関	1	4
合計	20	42



## 1.2. 利用している(利用したことのある)研究機器・設備(複数回答あり)

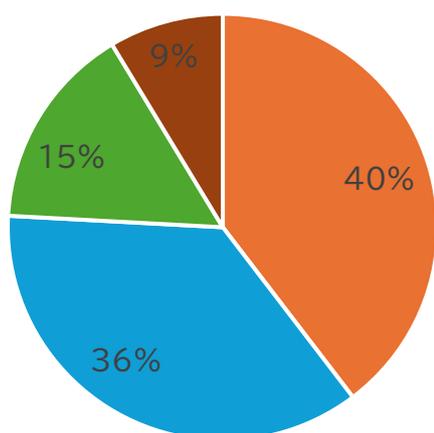
利用している機器・設備	回答数	所属機関(※)
HPLC、LC-MS	4	教、企
SEM、SEM-EDX	3	教、企
遠心分離機	3	企
XRD	2	教、企
microCT	2	教
ジャーファーマンター	2	企
フローサイトメーター	2	企
プレートリーダー	2	企
サーマルサイクラー(RealTimePCRを含む)	2	企
琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底実験施設	2	教
GC-MS	1	教
ICP	1	企
pHメーター	1	企
示差熱分析装置	1	企
硬さ試験機	1	企

利用している機器・設備	回答数	所属機関(※)
粒度分布測定装置	1	企
粉砕機	1	企
BOD 測定器	1	公
TOC 計	1	教
培養装置	1	企
蛍光顕微鏡	1	企
次世代シーケンサー	1	企
ゲルイメージャー	1	企
ナノドロップ	1	企
振とう機	1	企
凍結乾燥機	1	企

※ 教:大学・大学校・高専、企:民間企業、公:公的研究機関

### 1.3. 利用していない理由(複数回答あり)

利用していない理由	回答数
所属機関の研究機器・設備で対応できる	23
沖縄県内でどのような研究機器・設備が利用できるかわからない	21
利用したいがハードル(料金・手続き等)がある	9
その他	5

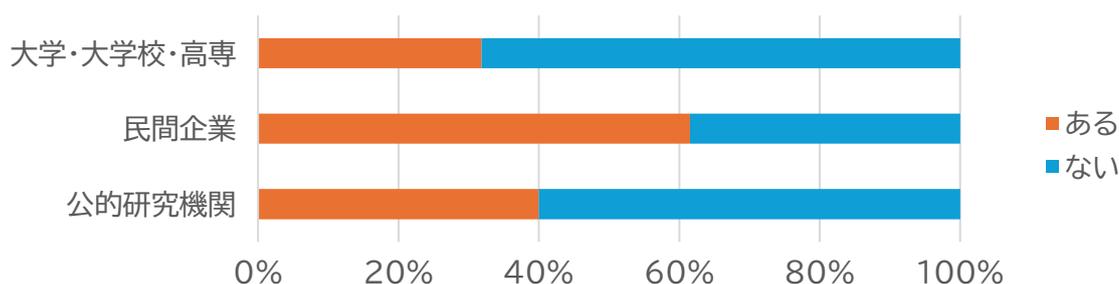


- 所属機関の研究機器・設備で対応できる
- 沖縄県内でどのような研究機器・設備が利用できるかわからない
- 利用したいがハードル(料金・手続き等)がある
- その他

#### 1.4. 沖縄県内に新たに整備してほしい(または更新してほしい)研究機器・設備

##### 【希望の有無】

所属機関	ある	ない
大学・大学校・高専	14	30
民間企業	8	5
公的研究機関	2	3
合計	24	38



##### 【整備(更新)を希望する機器・設備】

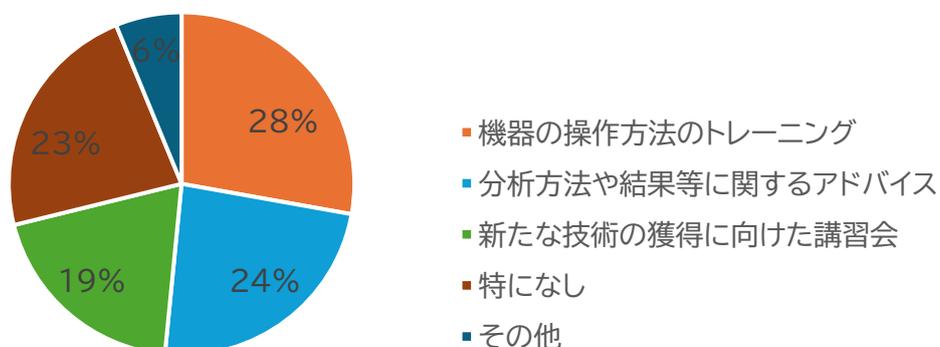
機器・設備名	回答数	所属機関※
GC、GC-MS	3	教、企
スーパーコンピューター、クラスタ型コンピューター	3	教
SEM-EBSD/EBSP	2	教
蛍光倒立顕微鏡	2	企
微量分光光度計、自動電気泳動システム	2	企
生体分子間相互作用解析システム	2	企
DNA シーケンサー	1	企
次世代シーケンサー	1	企
TEM	1	教
AFM	1	教
大型風洞設備	1	教
HPLC、LC-MS	1	教、企
細胞培養環境分析装置	1	企
自動セルカウンター	1	企
フローサイトメーター	1	企
共焦点顕微鏡	1	企
microCT	1	教
RealTimePCR システム	1	企
搾汁機	1	企

機器・設備名	回答数	所属機関※
濃縮器	1	企
スプレードライヤー	1	企
プラスチック混練機	1	公
真空誘導溶解炉	1	企
真空アーク溶解炉	1	企
熱力学計算ソフト	1	企
実験用小型圧延機	1	企
熱間加工再現試験装置	1	企
ハイパースペクトルカメラ	1	企
工作機器	1	公
海洋研修施設	1	教
全国紙の戦前の新聞紙のデジタルアーカイブ	1	教
附属図書館の手続き簡便化システム	1	教
沖縄県内で利用できる研究機器や設備の一覧	1	教

※ 教：大学・大学校・高専、企：民間企業、公：公的研究機関

### 1.5. 研究機器・設備に関して、沖縄県内で実施してほしい支援

支援内容	回答数
機器の操作方法のトレーニング	27
分析方法や結果等に関するアドバイス	23
新たな技術の獲得に向けた講習会	19
特になし	22
その他	6

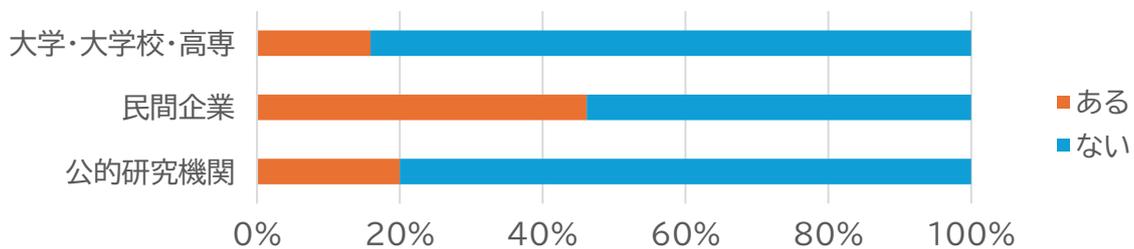


## 2. 沖縄県内の研究技術について

### 2.1. 技術・技能取得に向けた講座・講習会の提供

#### 【希望の有無】

所属機関	ある	ない
大学・大学校・高専	7	37
民間企業	6	7
公的研究機関	1	4
合計	14	48



#### 【提供してほしい講座・講習会】

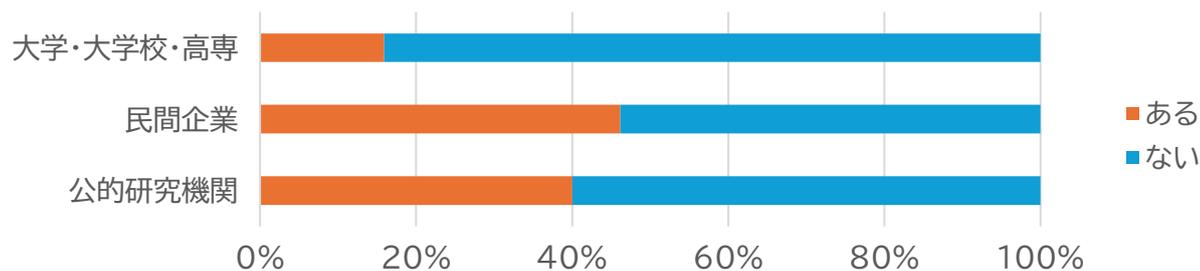
講座・講習会の内容	回答数	所属機関※
LC-MS(UPLC-MSを含む)、GC-MS 講習会	4	教、企
フローサイトメーター等の細胞解析に関する講習会	2	企
AI 技術に関する講習会	2	教、企
EBSD/EBSP 用試料調整(電解研磨)に関する講習会	1	教
共焦点顕微鏡講習会	1	企
XRF 講習会	1	公
XRD 講習会	1	公
エックス線作業主任者試験対策講習会	1	教
microCT を用いた画像解析講習会	1	教
動物実験に関する講習会	1	企
基礎 DNA 講習会	1	教
qPCR による遺伝子発現解析講習会	1	企
次世代シーケンサーを用いた遺伝子解析講習会	1	企
バイオインフォマティクス講習会	1	企
バイオセーフティに関する講習会	1	企
土壌汚染への対策に関する講習会	1	教

※ 教:大学・大学校・高専、企:民間企業、公:公的研究機関

## 2.2. 専門技術を有した人材から提供してほしい技術・技能(スキル)

### 【希望の有無】

所属機関	ある	ない
大学・大学校・高専	7	37
民間企業	6	7
公的研究機関	2	3
合計	15	47



### 【提供してほしい技術・技能(スキル)】

技術・技能(スキル)の内容	回答数	所属機関※
qPCR 等による遺伝子発現解析技術	2	教、企
質量分析に関する技術(LC-MS、GC-MS)	2	教、企
R 等を用いた統計処理技術	2	教
Dry 解析技術	1	企
次世代シーケンサを用いた遺伝子解析技術	1	企
免疫染色に関する技術	1	教
分析機器全般に関する技術 (HPLC、ICP-AES、EDXRF、粉末 XRD)	1	企
化学物質毒性リスク評価に関する技術	1	教
化学物質管理、有害廃棄物管理、排水管理、実験室環境管理、 安全衛生管理に関する技術	1	企
化学物質管理システムの構築に関する技術	1	公
薬事申請等に関して	1	企
microCT 画像解析等の画像解析技術	1	教
数値シミュレーションに関する技術	1	教
Python、ラズパイによる機器コントロール技術	1	教

※ 教：大学・大学校・高専、企：民間企業、公：公的研究機関

### 3. その他、沖縄県内の研究基盤全般に対する要望(自由記述)

内容	所属機関
修繕などの許可がおりるまでに時間が掛かりすぎるので、円滑な連携体制にしてほしい。	企
うるま市にある沖縄健康バイオセンターやライフサイエンスセンターのような施設が西原町 MICE 予定地や琉大付近に欲しい。	企
公募を公開してほしい。	教
県内研究者間での共同研究を活発化させるためのマッチングの機会をつくってほしい。	教
所属機関では機器の維持管理費が捻出できないため装置が陳腐化して役に立たない。他機関に何かを依頼するにしても費用予算がいくらぐらいかかるのかよくわからないし予算もあまりないため結局活用するまでには至らない。	教
所属機関を通さずに、個人で応募できる助成金。	教
行政から独立した化学分析技術者の養成。	教
近年益々、観光資源としてのマリレジャーが重要となって来ており、かつ水難事故が増加している中で、豊かで安心安全なマリレジャーを実現するための研究施設が県内独自に必要と考えられる。	教
他機関を利用しやすい(紹介しやすい)環境整備。県予算では機器購入・更新に限りあるため、OIST が所有している測定機器を県内企業等が利用できるように環境整備してほしい。	公
分析装置は様々あるが、試料作製のための装置が少ない印象がある。このため、工場から採取した試料の品質管理やトラブル対応に使うことはできても、新しい発想の基に試料を作ってみることが難しく、新製品開発になかなか繋がらないと感じる。	企
安定した情報・技術・ノウハウの蓄積のためには、技術員の雇用形態を正職員(正社員)(雇用の期限ナシ)にする必要がある。その分、人選に時間が掛かったり難しくなる可能性はあるが、どうにか落ち着いて取り組める環境が欲しい。	企
研究機器の共通使用の枠組みができれば研究レベルの向上と人的交流が図れると思う。	教
I can not speak or understand Japanese	教
解剖関連・標本作製。	教
全体での情報共有が不十分と感じる。	教
一つの施設では利用しきれない研究機器や技術などのノウハウなどはこういう研究基盤で共有していけたら良い。	教
図書がなく購入もされない。	教